



豊だより

令和3年 9月6日発行

No. 4

豊橋市立豊小学校

保護者の皆様には7月に実施した教育活動に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約した結果をご紹介します。いただいた貴重なご意見を今後の学校の教育活動に生かしていきます。掲載するご意見は一部抜粋となりますが、いただいたすべてのご意見について全職員で共有し、今後の活動に生かしてまいります。

○あいさつについて

コロナ禍により学校での子どもたちの様子を目にすることは少なくなりましたが、それでも旗当番を通して感じることは、わが子も含めあいさつできない子が本当に多いということです。すすんではおろか、あいさつを返してくれる子も少ないです。数年前までは、校門であいさつ運動をしている光景を目にしましたが、今は校門に立っておられる先生にすらあいさつできていません。コロナ禍ということで普通に会話することすら気がつかう世の中ですが、どんな時代になっても下を向いて歩くのではなく、目を合わせてあいさつできる子に育ててほしいと願うばかりです。学校での教育活動で力を入れていただきたいです。

朝の集団登校時、私があいさつをしても誰も返事をしません。子どもどうしてもあいさつを交わしません。何年か前は、道を歩いていても「こんにちは」とよくあいさつをしてくれていたのに、ここ数年、あいさつの出来ない子が増えたように思います。あいさつの大切さを今一度指導してください。

ゆたかの生活三則の中に「あいさつはいつでもどこでもだれとでも」という言葉があります。そして生活三則の最初の文言でもあります。学校の方でも「あいさつ」の大切さについては指導をしていますが、子どもの行動に表れていないので、全校で改めて取り組むようにします。

○暑い時期のマスク着用について

暑い時期の子どもたちのマスク着用のルールを見直していただけたらと思います。学校の行き帰りや体育の授業などの時は熱中症が心配なため、マスクなしでもよいかと思います。

今年、大阪府で体育の持久走で児童が亡くなった事故があり、とても心を痛めておりましたところ、豊小学校では、体育の授業時、マスクをはずして行うようになったと子どもから聞いて安心しました。そういった対応、ありがとうございました。これからさらに暑くなる為、登下校も心配です。苦しい時は無理せずマスクをはずせる雰囲気を作り、登下校もマスクをはずせるよう、お考えいただけたら幸いです。

6月の中旬より、体育時はマスクをはずして行うようにしました。登下校時についても「はずしてもよい」ということにしましたが、しゃべらない、友達同士の距離を確保する、ということが、どの子どもできれば「はずしましょう」でよいのですが、なかなか難しいこともあり、「はずしてもよい」ということにしました。いつでもはずせる雰囲気づくりはしていくよう努力いたします。

○プール指導について

学校から配付されるものには目を通してはいるつもりですが、豊小のプールが廃止になるという経緯やサーラに委託されてからのプールの授業数、来年度以降夏の体育授業はどのように行われるかなど、説明がされていないように感じます。学校教育におけるプール授業は水難事故から身を守る観点から非常に重要な意味があると思います。場所は変わってもこれまで通り授業数を確保できるかなど、非常に気になる点です。

豊橋市では「民営・公営プール活用事業」という事業に取り組んでおります。3月9日、4月8日付で教育委員会からの文書を配付させていただきましたが、わかりづらくて申し訳ありません。4月当初、今年度の民営プール使用、対象学年は、2・3・4年生で、各学年8時間（4回）を予定してお

りました。令和4年度は、全学年、民営プール使用とするのが豊橋市の計画です。したがって、今年度で、豊小学校のプール使用は最後になりました。豊橋市では、全小学校、民営・公営プールに徐々にしていく計画です。ご指摘のとおり、来年度のことや今後のことに触れられていないので、ご心配されるのは最もです。時間数は各学年8時間になる予定です。指導計画も準備されています。ただ、コロナ感染拡大のため、どの学校もまだ取り組みができていないのが現状です。

○アンケートについて

今回のアンケートの“学校は”のものは、学校の様子がわからないため答えることができませんでした。授業参観のない今こそホームページの日々の様子を多く更新していただけたらと思います。

校内の様子がよくわからない。参観を増やすのは難しいと思うが、写真やビデオを見たりできないか。

“学校は”“先生は”という項目は子どもに聞かない限り回答に困ります。アンケートの意味があまりないと思います。わからないということは、不透明ということかもしれません

子どもたちの様子をなるべくホームページで伝えるようにしていきます。写真やビデオを公開することは、個人情報との関係でなかなか難しい現状です。アンケートの項目については、何年間に一度見直しをいたします。ただ、経年観察ですので、時期については検討していきたいと思えます。

○学校への要望

学校行事で親の参加する時間が10時からだと参加しづらいところがあります。仕事をしている人が多いと思うので、午後からとかに調整できるものはお願いします。

コロナ禍で、できないことが多い生活で困っています。この生活の不自由なことに慣れが出てきているので、改めて学校でできることを思いっきりやってもらいたいです。

登校している子の中に“交通マナー”の身についていない子を見かけます。例えば、歩道のない道路で対向から車が来ているのに道のまん中を歩きます(車をにらむことも)交通マナーを身につける指導を日々の生活でも指導していただきたいです。

近年学校では、主体性を大切にする教育が大事とされています。しかし、子どもたちから伝わってくる今の学校社会はみんなと一緒になければいけないといった空気が支配しているようです。素の自分を表現できず、窮屈な思いをしている子どもが多いと見受けられます。子どもの原動力は自由にさせる外遊びです。コロナで自粛生活が続き子どもたちは我慢の多い時間ばかりです。教室ばかりでなく、外で自由に遊ばせる時間を増やすべきです。社会性を育てるために、遠足を実施させてほしいです。

子ども一人一人を見るのは大変だと思いますが、隠れてなぐる、ける等のいじめに近いことや「死ね」や「消えろ」の暴言を言っている子もいます。対処していただけたらと思えます

学校へのさまざまな観点からのご要望、ありがとうございます。「いじめ」に関しては、早期発見、素早い対応を旨とし、毎月「アンケート」を行い、気になる行動は職員で情報を共有しております。また、交通マナーについても指導していきたいと思えます。

コロナ禍の中、子どもたちのために、さらに工夫しながら教育活動を実施していきます。

○その他

子どもの話を聞いても授業参観の様子をみても、とっても活気があって子どもたちもとても楽しそうに授業を受けていてすごく安心感があります。母親としても本当にうれしいです。

コロナ禍で様々な制限がある中、子どもたちのために考え工夫し行動してくださる先生方には感謝いたします。プール授業が中止になった代わりにウォーターフェス等、子どもも喜んでおりました。中止になることが当たり前になり、がっかりすることすらなくなった子どもたちですが、コロナ禍の制限の中で知恵と工夫と仲間との協力で充実した学校生活を送れることを願っております。

上級生のお兄さんお姉さんも優しく、学校に笑顔で通うことができます。これから子どもとともに学校のことを知っていきたくて

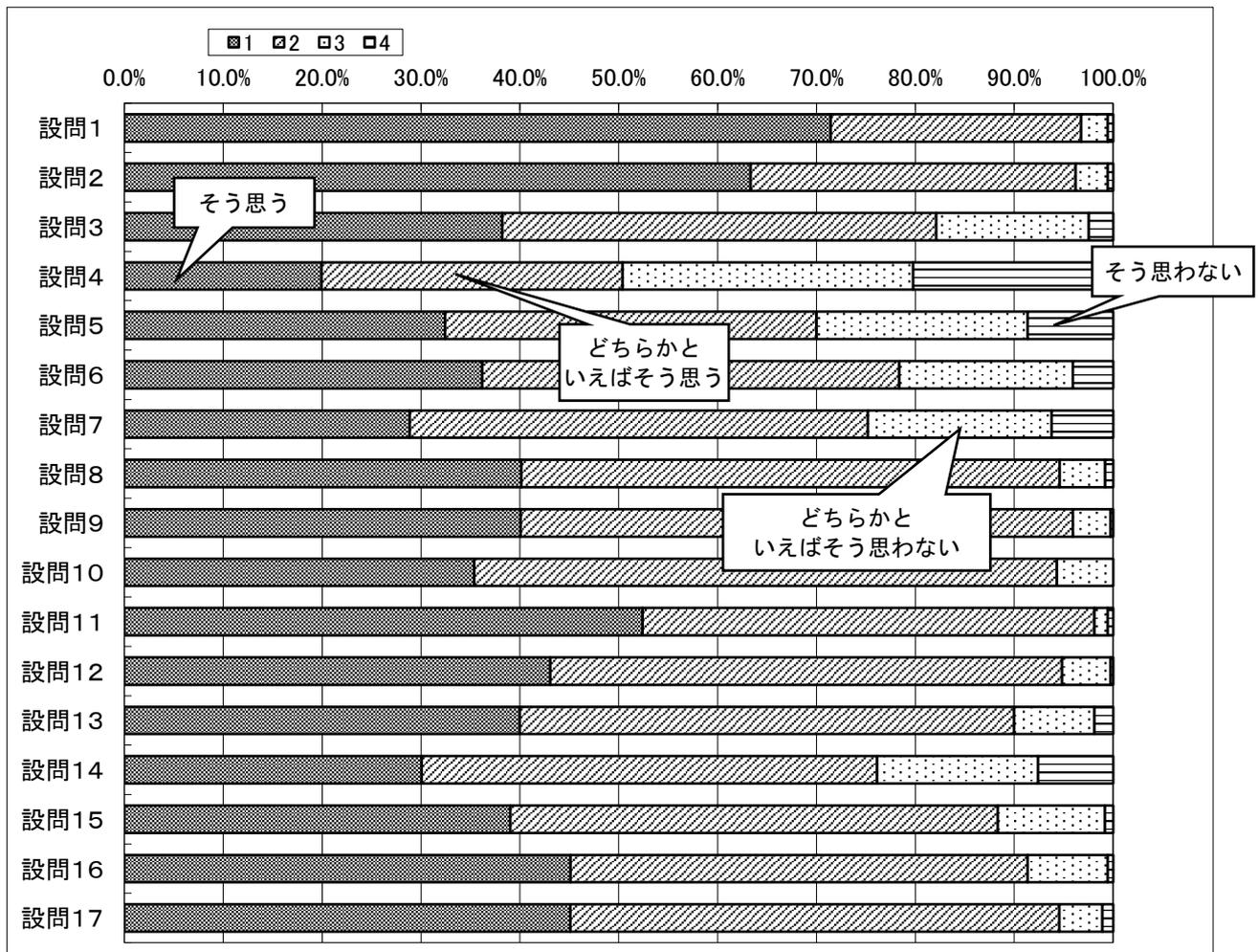
ありがたい言葉です。職員一同、子どもたちのために今後もますますがんばります。

【文責：校長 稲田あけみ】

保護者用アンケート

選択項目- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

番号	質問内容
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。
2	お子さんは、友達となかよく過ごしている。
3	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいる。
4	お子さんは、家庭ですすんで本を読んでいる。
5	お子さんは、早寝、早起きができる。
6	お子さんは、バランスよくごはんを食べている。(家庭で)
7	お子さんは、家庭での学習の習慣が身についている。
8	学校は、ルールを守り、けじめある行動がとれる子どもを育てている。
9	学校は、子どもたちが先生や友だちの話を聴いてしっかり考える授業づくりに努めている。
10	学校は、授業や「お話タイム」などを通して、言語活動の充実に向けて取り組んでいる。
11	学校は、避難訓練をはじめとし、常に子どもの安全を考えている。
12	学校は、交通ルールなどのきまりを守り、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもを育てている。
13	学校は、教育方針や子どもたちの教育活動の様子を、学校新聞・学年通信・ホームページなどで、よくわかるように伝えている。
14	学校は、学校や地域の人たちにすすんであいさつできる子どもを育てている。
15	学校は、「朝の読書」や授業、休み時間などを使い、読書指導を積極的に行っている。
16	先生は、子どものよさを認め、伸ばそうとしている。
17	先生は、授業を楽しくわかりやすくするための工夫をしている。

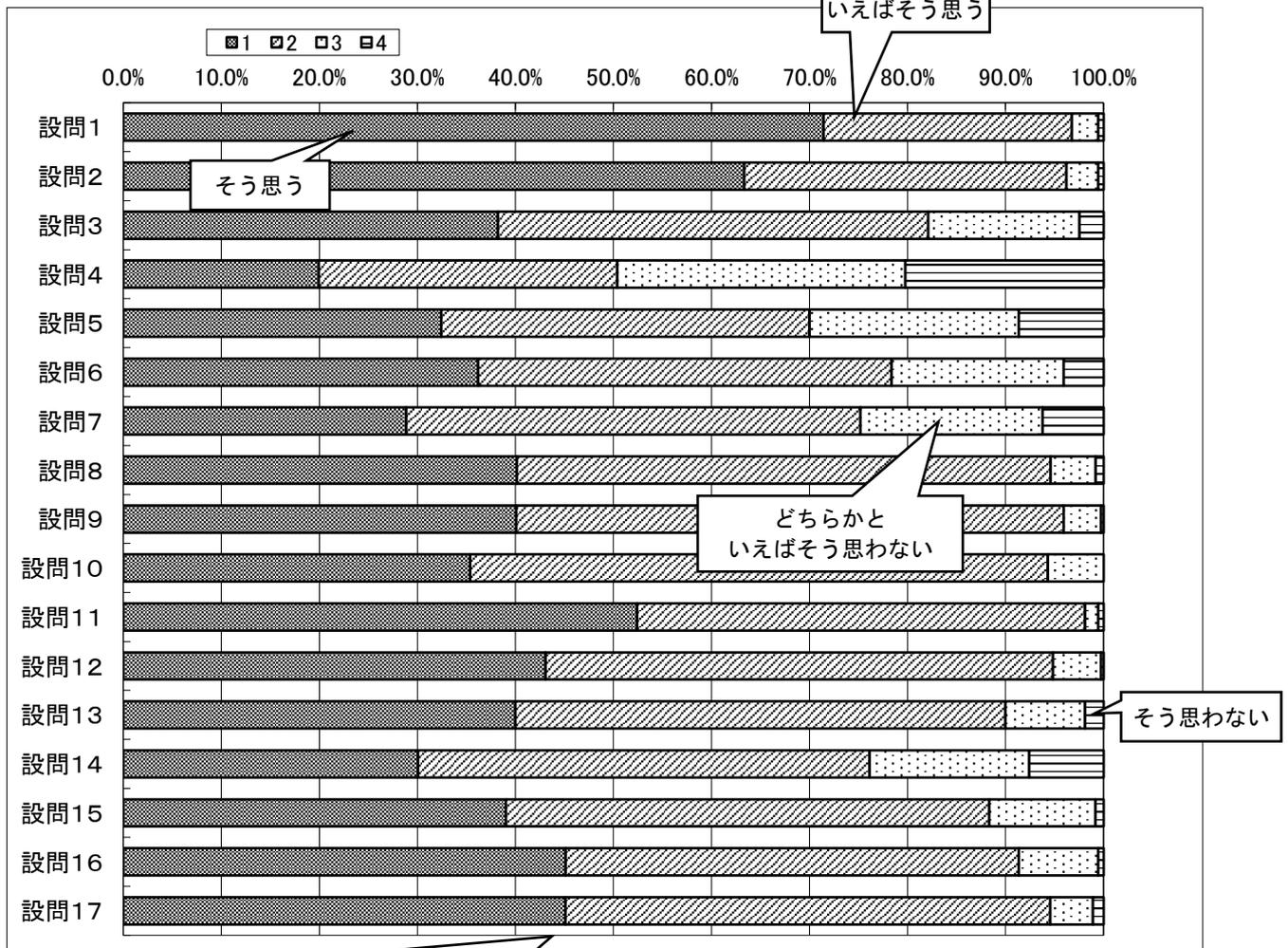


・児童用アンケート

A : そうおもう B : どちらかといえばそうおもう

C : どちらかといえばそうおもわない D : そうおもわない

質 問 項 目	
1	学校はたのしい。
2	友だちと協力してなかよく過ごしている。
3	すすんで学習している。
4	家で本を読んでいる。
5	いつも早寝、早起きをしている。
6	ごはんは、好ききらいなく食べている。
7	家で宿題や勉強をきちんとしている。
8	きまりや約束を守っている。
9	話をよく聞いて、考えたり意見を言ったりしている。
10	お話しタイムや授業で発言している。
11	避難訓練に真剣に取り組めた。
12	交通ルールやマナーを守っている
13	学級通信や学年通信を読んでいる。
14	学校の行き帰りなどに、地域の人にすすんであいさつをしている。
15	学校で本をたくさん読んでいる。
16	授業で褒められてうれしかった時がある。
17	先生は、わかりやすく教えてくれる。



保護者の方や子どもたちのアンケートを見ていて、「読書」と「あいさつ」が十分できていないことがわかりました。特に「あいさつ」については学校でも指導を続けていますが、学校内ではできていても、地域ではなかなかできていないことがわかりました。子どもたちの明るく元気なあいさつが響き渡る豊校区にするために、今後も子どもたちに「あいさつ」の大切さを伝えていきたいと思ひます。